

令和5年度 学校関係者評価実施用紙（会議等用）

※「関係者評価」の欄に下の評価基準に基づき、A～Dのいずれかを記入してください。
「意見」の欄に、御意見や御助言があれば、記入してください。

評価	基準	評価	基準
A	十分目標を達成することができた	C	あまり目標を達成することができなかった
B	おおむね目標を達成することができた	D	ほとんど目標を達成することができなかった

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	評価	関係者 評価	御意見
ア	新学習指導要領に即した生徒の 基礎的な学力及び技術・技能の定着を図り学び続ける人の基盤作り	・基礎力診断テストにおいて学年の50%以上が学習到達度C1以上。	A	A	
		・観点別評価のルーブリックを踏まえた授業及び評価を実践している教員100%。 ・「各授業の目標がはっきりしている」と答える生徒80%以上。 ・自身が取得可能な資格・検定について理解している生徒100%。 ・卒業時の生徒の国家資格・試験における取得・合格者率55%以上。	A	A	○目標が55%で、達成が61%はA評価だと思います。国家資格が取得できるのは素晴らしい。 ○教員のルーブリック対応の向上を望む。 ○観点別評価のルーブリックを踏まえた授業及び評価を実践していない教員について、どのような理由・背景で実践していないかを確認する必要がある。何らかの課題があつて実践できないようであればその課題解決に学校組織としても協力していけるとよいのではないかな。
		・「授業のある日は授業以外で1時間以上学習に取り組んでいる」と答える生徒80%以上。	B	C	○なかなか難しいですね。ただ、学校は部活動を頑張ることも十分褒められると思います。 ○高学年の学習時間は大切。指導をお願いします。 ○部活動の時間が多すぎて疲れてしまい、自宅学習ができない生徒もいますから、逆に80%は高いように思えます。
イ	ICTの活用と「 主体的・対話的で深い学び 」の充実	・ICTを活用した授業に取り組んでいる教員100%。 ・一人一台端末の効果的な活用に資する公開授業等の実施。 ・授業を参観した教員100%。	B	B	○掛工に入ってくる子供たちはICTに期待してくる子も多いかもしれません。 ○さらなるブラッシュアップを望む。 ○3年生は入学時に購入していなかったもので100%でよいのか？評価も悩みます。 ○上記のルーブリック同様、ICTを活用していない教員について、どのような理由・背景で実践していないかを確認する必要がある。また、ICT活用は手段ではあるものの、前向きに捉えれば活用の余地が全くない科

	取組目標	成果目標	評価	関係者 評価	御意見
					目・授業というのも考えにくい のではないかな。
		・授業以外で生徒が議論、協力、発信する場面を設定した教員 80%以上。	A	A	○やや当てはまるを入れると95.3%なのでAでいいと思う。
ウ	計画的なキャリア啓発と個に応じた適切な進路指導の推進	・「生徒の希望や適性を生かした進路指導、進路相談をしている」と答える生徒・保護者 80%以上。	A	A	○結果が出ているため。 ○確かに 80%以上が希望や適性を生かし進路指導されていますが、他 20%の生徒・保護者が納得や理解されていないのか？そちらが気になりました。
エ	豊かな人間性を持ち地域や産業界でリーダーとなる生徒の育成	・準備を終えて授業・実習に臨む生徒 100%。 ・「挨拶や身だしなみの指導が明確で徹底している」と答える生徒・保護者 85%以上。	B	B	○小学生と同じ問題が高校生でもありますね。 ○100%を目指すべき。
		・「学校生活が充実している」と答える生徒 80%以上。 ・「掛工へ入学してよかった」と答える 3 年生 75%以上。 ・生徒が参加した学校改善プロジェクトの継続実施。 ・外部機関等と連携した課題研究・実習の設定。	A	A	○入って良かったという声が 80%以上というのがすごいと思います。 ○弊社の様な一般企業、大いに活用頂きたいです。
		・1 カ月（読書週間含む）に 2 冊以上の本を読んだ生徒 50%以上。	B	B	○読書は先生がもっと時間を取って「この本のここが良かった」などシェアしてあげるの大切。大人のエゴにならず SNS 等で若者に流行の本を先生がチェックしてほしい。 ○本を読む習慣は大切。 ○部活動が多忙すぎて、本を読む時間が取れなかったり、1 冊の本をじっくり読みたい生徒もいるようなので臨機応変に 2 冊でなく、時間に変えてはどうでしょうか。
オ	「ものづくり」の魅力拡大に寄与する教育・広報啓発活動の展開	・出前講座、出前授業、ものづくり講座等、中学生が「ものづくり」を体験し魅力を感じる教育プログラムの開発と実	A	A	○素晴らしい。

	取組目標	成果目標	評価	関係者 評価	御意見
		施。 ・小学校や地域で「ものづくり」を体験し魅力を発信する講座の実施。 ・講座や学校説明会等に参加した児童生徒及び保護者数延べ1,000人以上。			
		・週あたり3日以上ホームページ更新。 ・学校公式 SNS の運用	B	B	○インスタ頑張っていると思います。ただ今は目に留まるのが写真やタイトルのおしゃれさ等大切なので、生徒の得意な子に任せるのはだめですか？うちの娘は得意です。 ○今の時代、大切と思う。 ○一部、生徒の活動に変えてはどうでしょうか。 ○Instagram 活用を評価できるとよいのではないかと。
カ	生徒・教職員が安全・安心に授業や諸活動に取り組むことができ、地域や保護者から信頼される学校の教育環境整備	・「校内に悩み事などを話せる（相談できる）教員や仲間がいる」と答える生徒75%以上。 ・学校全体で1日あたりの欠席6.0人以下、遅刻2.0人以下、早退1.0人以下。	B	B	○先生に悩みを元々話さないと思うのでAです。 ○個人の悩みを聞くのは大切。休みが多い生徒のフォローは大事。ただ、教員負担が多くならないように専門家のフォローシステムを作る。 ○多様化しているので仕方ないと思います。数ではわかりません。 ○場面・場所を提供出来た事は大変有意義な第一歩かと考えます。
		・「学校は感染症対策等に配慮して教育活動を行っている」と答える生徒100%。	A	A	○現状の対応で十分です。 ○概ね9割OKなのでAでよい。 ○Aですが古い建物のため、予算が足りないと感じました。 ○主観的なアンケート調査ではなく、客観的な行動指標等で調査・把握できるとなるとよいと考えられる。
		・「校内が安全に整備、整頓されている」と答える生徒・保護者80%以上。	A	A	○いつもきれいだと思います。 ○改善が進んでいる。 ○同上。特に設備の整備・点検状況等。
		・防災訓練の年3回以上実施。 ・日常の振り返りに基づく安全教育の毎月実施。	A	A	○地域防災行事にも出てほしいです。 ○さらなる危機感を持って臨んでもらいたい。

	取組目標	成果目標	評価	関係者 評価	御意見
キ	学科・教科・分掌 を超えた業務の 平準化・効率化 の推進	・各学科・教科・分掌で業務の平準化又は効率化に向けた提案 1 件以上。 ・一人当たりの年間の休暇取得時間 100 時間以上。	B	B	○どの企業や団体でも時間管理が重要とされている。 ○教員不足（魅力UP）。 ○教員の方々の働き方改革は大変重要かと思います。